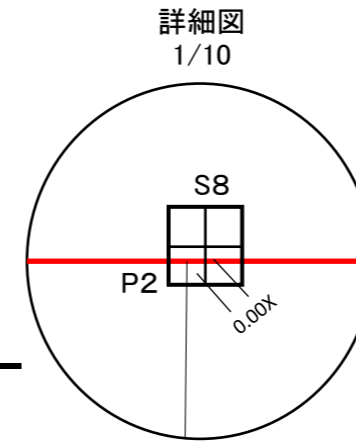
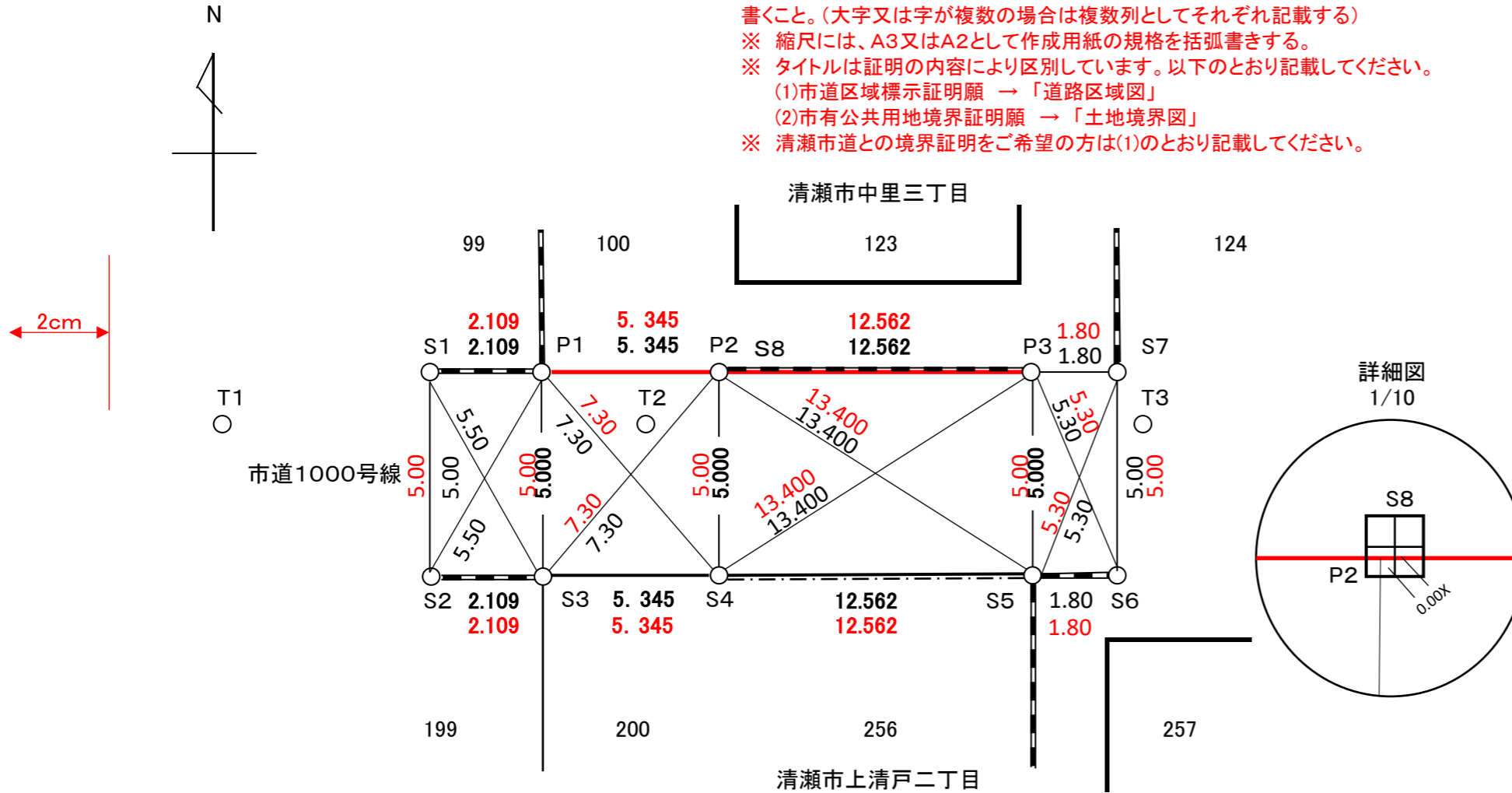


(証明用_点検図記入例)

- (注)
 ※ 用紙は日本工業規格A列2番又は3番とし、普通紙で品種は上質紙と
 ※ 縮尺は、原則として1/250とする。
 ※ 境界確定を伴う場合は、確定で作成した点検図をご提出ください。
 ※ 別途証明用の点検図を作成する必要はありません。

道路区域図 ※または土地境界図			
土地の 所在・地番	清瀬市	丁目	番 ほか
			縮尺(A3) 1 250

- (注)
 ※ 土地所在地番が複数ある場合は「ほか」を忘れずに
 書くこと。(大字又は字が複数の場合は複数列としてそれぞれ記載する)
 ※ 縮尺には、A3又はA2として作成用紙の規格を括弧書きする。
 ※ タイトルは証明の内容により区別しています。以下のとおり記載してください。
 (1)市道区域標示証明願 → 「道路区域図」
 (2)市有公共用地境界証明願 → 「土地境界図」
 ※ 清瀬市道との境界証明をご希望の方は(1)のとおり記載してください。



符号	X	Y	備考
P1	00.000	00.000	新設市石標 <input checked="" type="checkbox"/>
P2	00.000	00.000	計算点
P3	00.000	00.000	新設市金属標 <input checked="" type="checkbox"/>
S1	00.000	00.000	既設市石標 <input checked="" type="checkbox"/>
S2	00.000	00.000	既設鉄
S3	00.000	00.000	計算点
S4	00.000	00.000	既設民石標 <input type="checkbox"/>
S5	00.000	00.000	現況L形溝曲がり
S6	00.000	00.000	既設鉄
S7	00.000	00.000	既設民石標 <input type="checkbox"/>
S8	00.000	00.000	既設民石標 <input type="checkbox"/>
T1	00.000	00.000	新設鉄
T2	00.000	00.000	新設鉄
T3	00.000	00.000	既設鉄
10A30	00.000	00.000	金属標・(測地成果2000)
2A100	00.000	00.000	鉄鉄(測地成果2000)

- (注)
 ※ 石標、金属標の形状は図面記載方向を基準に現形を記載する。(北上ではない)
 ※ 石標、金属標の既設、新設の別を記載する。
 ※ 多角点の世界測地系等(測地成果2000又は2010)を使用した場合は
 その旨記載する。

- (注)
 ※ 測量年月日は、境界標設置日等を記載すること。
 ※ 原則上下左右2cm以上空ける。

- (注)
 ※ 文字等の大きさは縦横2.0mm以上で、P点間は太さ0.3mmの黒線とする。
 ※ 辺長、たすき掛け、幅員寸法、全て切り捨てミリ表示(実測値・調整値)
 ※ 過去の土地境界図等において、既に確定している辺長は、比較できるように赤字で併
 ※ 境界点や引照点が図面上で分かりづらい場合、詳細図を記載する。
 ※ 多角点(機械点)は3点以上記載のこと。
 ※ 適宜、周辺の状況が分かるように付近の地形、構造物等を記載する。



凡 例	○ Pn	境界点
	実形または○ Sn	引照点
	○ Tn	多角点
	○ ○ m ○ ○	境界辺長

作成者	清瀬市中里五丁目842番地
	資格名 登録第○○○○号
測量年月日	令和 年 月 日
	職印 または 印